

恵みの福音

2021

1

THE GOSPEL OF GRACE

発行2021年1月1日 毎月1回
 月刊 通巻第632号
 〒350-0434 埼玉県入間郡毛呂山町大字市場1132の1
 TEL 049-294-6012 FAX 049-295-2779
 宗教法人大東洋口ア・キリスト伝道教会



万国民の教会

Photo by Rock Pine

すべてのことを受け止める 肉の心

エゼキエル三六・26

エゼキエルは、バビロンに捕囚となった民に対し、神からのメッセージを語りましたが、エゼキエル三六・26では「わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える」と希望のメッセージが語られています。

「石の心」とはどのような心でしょうか。例えば、ボールが岩の上に落ちると高く跳ね返りますが、そこにクッションを置いたら、ボールは吸い付くように受け止められるでしょう。神のこぼを聞いても、石のように頑なな心のままであったら、ただ聞くだけの者になり、みことばによって新しく造り変えられることできません。

エゼキエルの時代、預言者を通してイスラエルの民に神のこぼが語られても、民は素直に耳を傾けることなく、彼ら自身の歩みには何の変化もありませんでした。彼らが、「石の心」すなわち、頑なな心で神のこぼを聞いていたからです。エレミヤの時代にも、ユダの王エホヤキムは神のこぼが告げられていても、腹を立て聞き終わらないうちに書記の小刀で巻物を「裂いては暖炉の火に投げ入れ、ついに、巻物をすべて暖炉の火で焼き尽くした（エレミヤ三六・23）」とあります。エホヤキム王の心は悔い改めることをしない石の心であり、自分の気に入らない神のこぼは、切り捨てる態度だったのです。

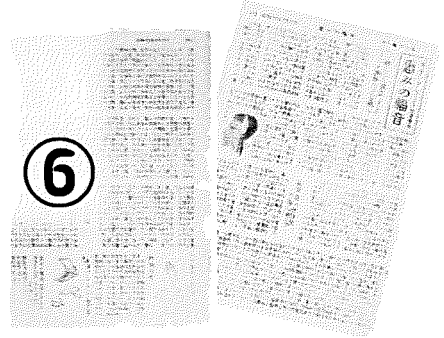
その石の心に変えて、神は「肉の心を与える」と約束されています。「肉の心」とは柔らかい心であり、御霊によって支配された心です（ガラテヤ五・22、23）。柔らかい心はみことばをしっかりと受け止め、悔い改めをもち、キリストに似た者となるよう、その人を新しくします。また、相手からの非難をしっかりと受け止め、仕返しをせず、すべてのことを柔和さをもって対処します。柔和でへりくだっておられる主イエス・キリストに学んで、神と人に仕えていく者にさせていただきます。

記録からたどる

コリエル師の足跡 ⑥

創立15周年記念大会出版

東京ローアキリスト伝道協会



(10月号の続き)
 一九五八年11月2日、コリエル母娘宣教師は6年ぶりにアメリカの地を踏みました。到着の港には、コリエル師の妹さんをはじめクリスチャンの方々が集まり、久々の再会を喜びました。

11月20日発行の恵みの福音誌は、三師アメリカ到着の特集号。イラスト入りの「アメリカだより」がスタートし、報告はコリエル両師に同行した清田勝子伝道師が主に書きました。清田師は、宗教法人認可の一九六一年に未成年だったので、アメリカ伝道旅行の時は十七、八歳と書われます。豊かな感性の文は、当時の様子が目に浮かぶようです。



コリエル母娘宣教師と清田師

「アガ御効だより(1)
 「着いた日にローア者教会で
 日本のことを話す」

我らの神よ、救主の聖名を高くかに崇め奉ります。

米国へ渡るのに高花丸という貨物船で横浜を出たのは、十月十七日の正午十分でした。あの時は天晴(晴天?)でした。高花丸の重さは七三二九トン、長さは一四七米、高さは二二米くらいです。高花丸で米国まで十七日かかります。

着くまでの時間が多くありますからそれを機会に、英語、英語手話の勉強をしたり、船外を眺めたりしています。時々船体は大波にあおられて激しく揺れて身体が不安でした。良い天気の時、太陽が照ってインキのような濃い水面は、宝物のようにピカピカと光っています。海の広さを知ることができないほど、見渡すかぎりどの方向でも空が海にとけこんでいるのを見つめると、イヤヤ四〇章が次々と思い出されます。私は今小さ

な船の上の上に立っており、私の下には幾多の海棲動物(海に住む動物)の神秘的な生命で満ちている海がある。それは神の大きな御力の御業によるのであることを神に対して感謝をやめませんでした。

さて、難航を続けた高花丸は長い航海を終えてようやく十一月二日午前八時二十分、サンペドロ港に着きました。私たちは神の御恵みによって無事でした。皆様御安心下さい。朝食がすんだ後、汽船の中で黒い制服を着た税関の役人が私たちの手荷物の検査を終えて汽船を下りました。米国のクリスチャンが迎えに来られました。もちろんコリエル師は喜んでおります。

私は初めてアメリカの土地に足を踏み入れました。私の小さい黒い目が青い目におおわれている。背が高い白人と握手で挨拶をしました。

訪問伝道協会(英訳)から私たちは招待を受けることになりましたから早速自動車に乗っ

て、窓から外を眺めるとアメリカの家庭の家は美しい色です。野原とあの野原では、同じ緑でも色が違って見えます。米国の湿っぽい空気が田園風景を美しい色の配合で型どっています。美しい花の咲いている日本の六月の森のことを思いうかべるのです。

訪問伝道協会に三時頃に着きました。コリエル母師が日本のメッセージを語りました。その次は、コリエル姉師と私が日本の手話で讃美歌をしました。米国のクリスチャンの大きな丸い目が現われて珍しそうです。

それを終えてから、老人だけの祈禱会から私たちを招きましたので早速に自動車で走ってこの教会に着きました。コリエル母師が一時間の説教をしました。それをすませてから早速に自動車に乗ってローア者の教会へ行きました。この教会は、コリエル姉師の若い時代に毎日曜日に出席した教会です。私は初めてローア者の教会に入りました。

このクリスチャンの出席者は八人です。日本の手話と米国の手話との間は、非常に違ってきます。米国の手話は日本よりもスピードが早いです。私はそれを目につくことができなほどです。皆さんにもその早さが大体わかるでしょう。コリエル姉師が日本のメッセージを語りました。私も日本のニュースを報告しました。

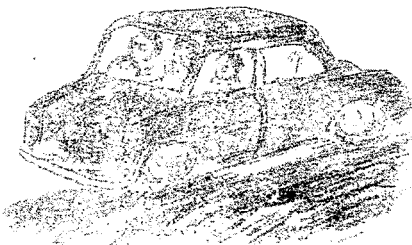
午後九時頃それを終えて、大食堂店に入って夕食をすませました。自動車で訪問伝道協会に帰ってそこで泊りました。こうして神が私たちを導かれて下さることを喜びに満ちています。天におられる神をほめたたえよ。ハレルヤ、ハレルヤ。

訪問伝道協会の聖書学院の学生たちに毎朝一時間、「罪人を救う方法」について聖書を教えています。

神の御計画により、私たちを導かれるためお祈りを下さるようお願いします。(ピリピ一・二七)

私たちの必要とするものは自動車です。なぜなら、電車がほとんどないので。自家用車がほとんど利用されます。でも私たちは、今それを持っていないために、必要なのです。交通は大きいアメリカでも不便です。神が奇跡の賜物を下さることを信じます。このためクリスチャンたちが心を合わせてお祈りを下さるようお願いいたします。より豊かな祝福を日本の教会の上にあるようお祈りいたします。

あなた方の主にある友
清田勝子



当時の「アメリカだより」イラスト

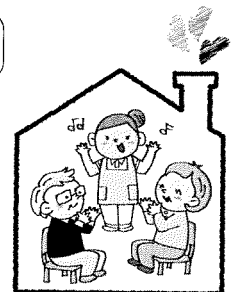
共同住宅「とわの鐘の家」

募集中

職員 1名 (健聴者のクリスチャン)
入居者 2名 (ろうあ者のクリスチャン)

※とわの鐘の家は、ろうあクリスチャンが老後も安心して「主の家」で過ごすための共同住宅です。

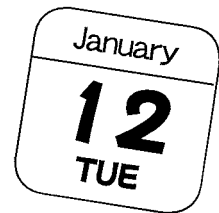
★連絡先 (本部 事務局) ⇒ 電話 049-294-6012 / FAX 049-295-2779



出版部より



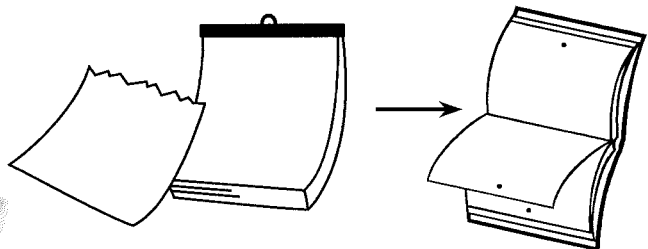
間もなく締め切り!!



※ 会員限定

2021年度 教会カレンダー 注文受付中
(2021年4月～2022年3月) 定価: 1,300円

※ 注文は伝道所でまとめて、1月12日(火)までにお願いします
(3月上旬に伝道所で配布します)



切り取りタイプから二つ折りタイプに変わります。
A4判横長サイズ《210mm × 297mm》
(広げると、今までと同じA3判になります)

全国夏期修養会テキスト

A 4判		
2019年度	「わたしたちの信仰告白」8. 終末	300円
2018年度	「わたしたちの信仰告白」7. キリストのからだなる教会	300円
B 5判		
2017年度	「わたしたちの信仰告白」6. 信仰による救い	250円
2016年度	「わたしたちの信仰告白」5. 聖霊のみわざ	250円
2015年度	「わたしたちの信仰告白」4. キリストの神性	250円
2014年度	「わたしたちの信仰告白」3. 人間の罪	250円
2013年度	「わたしたちの信仰告白」2. 生ける真の神	250円
2012年度	「わたしたちの信仰告白」1. 聖書の権威	250円
値 下 げ	100円	
	2011年度	「聖霊とクリスチャンⅣ」
	2010年度	「聖霊とクリスチャンⅢ」
	2009年度	「聖霊とクリスチャンⅡ」
	2008年度	「聖霊とクリスチャンⅠ」
	50円	
	2001年度	福音を伝えよ
	2000年度	まことの救いとは
	1996年度	伝道と祈り
	1993年度	未信者に対して賢明にふるまおう
	無料	
	1991年度	家族の救い

全国青年の集いテキスト【再版】

B 5判		
2012年度	金持ちの青年と永遠のいのち	300円

※ 注文は、各伝道所に配布した「出版物注文書」をご利用ください。

※ 注文先のFAXは「049-295-2779」です。

巻頭写真の言葉

万国民の教会

「万国民の教会」はオリ
 プ山の麓ゲツセマネの園に
 四世紀に建てられました。祭
 壇の下は地肌のままで二千年
 前に主イエスがこの所で祈ら
 れ、汗が血の雫のように落ち
 た場所とされています。別名
 「苦悶の教会」とも呼ばれて
 います。現在の会堂は、世界
 十二カ国からの献金で一九二
 五年に再建されたものです。



報告

◆教会本部

○11月10日(火) ～ 12日(木)

第3回手話委員会

4名

○11月18日(水)

第5回事務局会

4名

○11月25日(水)

第2回臨時事務局会

4名

○11月25日(水) ～ 26日(木)

第2回臨時常任理事会

3名

◆聖書学院

(なし)

今月の巻頭言 近藤信二師

あげまして

おめでとうございます。

新しい年も、主の豊かな

祝福がありますように。

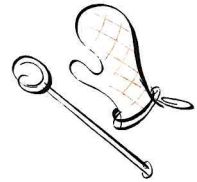
本年もよろしく

お願いいたします。

理事・教職者・職員一同

炊事職員急募

(1名)



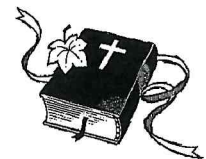
⇒ 曜日・時間は相談に応じます。伝道所の教職者（不在の場合は担当教職者）
 を通して、事務局長までご連絡ください。

聖書学院入学募集

本科（3年）／信徒コース（1～3年）／信徒コース（1年）

◇願書締切◇ 2021年 1月 6日(水) 必着

◇筆記試験◇ 2021年 1月30日(土) 本部にて



※ 詳しくは、各伝道所に送付した入学案内を参照、または、聖書学院へ。